



## Q・住民主体サロン活動の活性化を

## A・積極的に支援していく

**Q** サロン登録サークル数と構成人員は。

**A** 生活福祉部長  
3サークル(①青山上東・上西地区②町全体対象③伊勢山地区)ある。それぞれ平均で①青山上東・上西地区は男性6名、女性11名②町全体サークルは男性1名、女性27名③伊勢山地区は男性16名が活動

**Q** 加入サークルを増やす考えは。

**A** 生活福祉部長  
引きこもりや閉じこもりの解消に繋がっていくことを目的としているので、町内の各地域にたくさんできることを目指している。

**Q** 当町の社会福祉協議会ホームページの内容を見やすく、検索しやすくする

**A** 生活福祉部長  
出来る範囲内で役割を担っていくことが喜びとなり、生きがい

どの工夫をしては。

**A** 生活福祉部長  
サロン活動のすそ野を広げるためには、ホームページで紹介するのは有効と思う。先進的な活動をしている市町を参考に社会福祉協議会と連携を図りながら、ホームページ掲載について検討する。

**Q** 各サークルの世話人との交流会など開催しては。

**A** 生活福祉部長  
更なるサロン活動の充実を図ることを目的に、交流会を6月頃に開催する予定である。

**Q** 世話人のレベルアップ施策は。

**A** 生活福祉部長  
出来る範囲内で役割を担っていくことが喜びとなり、生きがい



▲なごやかな地域サロン

となつてきている。また、役割を果たすことで社会参加への一歩にも繋がっていくと思う。参加者に役割を分担し充実感を支援していききたい。

感じてもらえる様に工夫する。社会福祉協議会と連携して、住民主体のサロン活動を積極的に支援していききたい。